

ブラウnbバック運動を通じた 医療資源の最適利用

イソノ薬局 同志社女子大学 田上 日菜

背景

薬局実習で服薬指導を行う中で、実際には多くの患者さんが残薬を抱えており、残薬調整を行う場面を数多く経験しました。



残薬を放置すると、十分な治療効果を得られない可能性があり、また使用されない医薬品が増えることで医療費の無駄にもつながります。



そこで、「残薬を減らすために何かできないだろうか」と考えた際に、ブラウンバッグ運動という取り組みを知りました。



今回は、このブラウンバッグ運動を通して、医療資源の有効活用に取り組みましたので、その内容について発表させていただきます。

目次

1. ブラウンバッグ運動とは
2. 患者背景
3. 残薬の原因考察
4. 残薬の再利用の検討
5. まとめ

ブラウンバック運動とは

ブラウンバック運動とは、
1980年代から1990年代にかけてアメリカで始まった取り組みです。

飲み忘れや重複処方などによる残薬を減らし、薬の管理を適正化することで医療費の削減につなげることを目的としており、患者さんが茶色い紙袋に自宅の薬やサプリメントを入れて薬局へ持参することから、この名前が付けられました。

ブラウンバック運動では、持参していただいた実際の薬剤を確認しながら、服薬状況や保管状況、重複服用の有無、残薬が生じた原因などを把握することで、適切な服薬支援や処方内容の見直しにつなげることができます。



利点

- ・ 患者さんの記憶だけでは分からない**実際の残薬量**を確認できる。
- ・ **重複薬や期限切れの薬**を発見できる。
- ・ 保管状況や一包化のまま残っているかなどの保管状況から、**実際の服薬状況を客観的に把握**できる。
- ・ 実物を見ながら話すことで、
残薬が生じた**原因を聞き出しやすい**。

症例

20代 男性

- ・性格的に物事を考えこみやすく、特に就寝前に考え込んで寝れないことがある。
- ・4年前から不安と不眠に対する薬物治療が開始。

- ・考え込む内容：
母親の介護に悩み、就寝前に明日が来ると思うと不安が強くなる。

当時は毎日考え込んでしまい、全く寝れない日が続いていた。

⇒最近是比较的落ち着いてきて、不眠の頻度は減少している。

症例 (処方内容)

【不安】

- ・アリピプラゾール 1 mg (半錠)
 - ・スルピリド 50mg
 - ・メダゼパム 5mg (レスミット)
- 朝夕食後
- ・アリピプラゾール 1 mg 不安時
 - ・ジアゼパム 2mg 苦しい時

【不眠】

- ・ゾルピデム 5mg
 - ・クロピドグレル 5mg
- 寝る前

【胃腸薬】

- ・ランソプラゾール OD 15mg 夕食後
- ・ミヤBM 毎食後

症例 (残薬)

【不安】

- ・アリピプラゾール 1 mg (半錠)
- ・スルピリド50mg
- ・メダゼパム5mg (レスミット)

朝夕食後

28包
40錠
81錠

- ・アリピプラゾール 1 mg 不安時 17錠
- ・ジアゼパム2mg 苦しい時 74錠

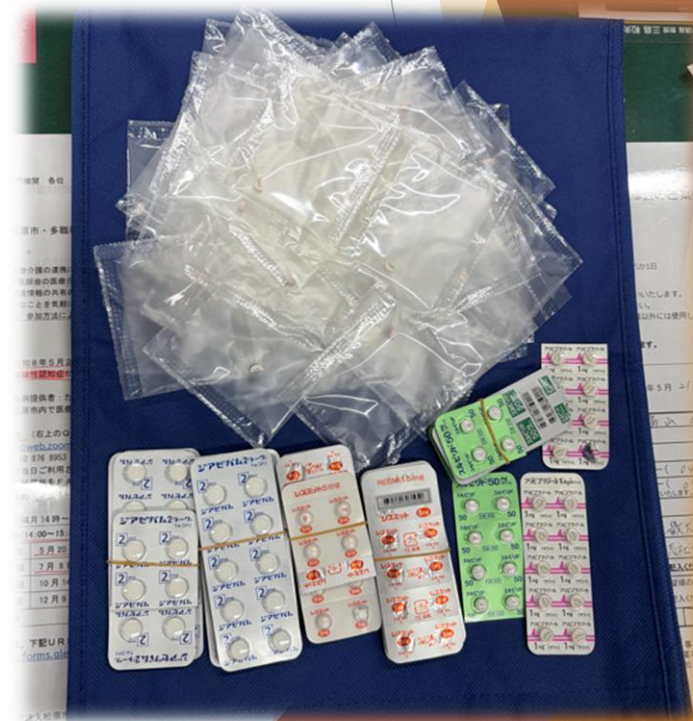
【不眠】

- ・ゾルピデム5mg
- ・クロピドグレル5mg

寝る前

【胃腸薬】

- ・ランソプラゾールOD 15mg 夕食後
- ・ミヤBM 毎食後



症例

①生活リズムにあった服用方法か？

- ・ 仕事時間（在宅） 10:00 ～ 12:00 頃
- ・ 寝る時間 22:00頃
- ・ 「服薬が難しいタイミングはなく、たいていは飲めている」と回答
- ・ 飲み忘れ防止の工夫：
「薬局から貰った袋のまま上から朝夕食後、夕食、寝る前、頓服の順番に並べて置いている。」

⇒生活の中で服用の難しいタイミングや事情はないと考える

症例

②服用できなかった理由は？

- ・「できるだけ薬に頼りたくない」という思いがある。
- ・ 最近は眠れない日が以前より減ってきていることから、「自力で眠れそうな日は薬を飲まないようにしている。」と回答した。

⇒頓服薬のジアゼパム1mg、アリピプラゾール1mgの残薬は患者さんの自己調整によるもの

症例

朝夕食後のスルピリド50mg、レスミット5mg、
アリピプラゾール1mg（半錠）

- ・「たまに起床時間が遅くなった時に飲み忘れる」と回答

⇒ご本人も特に困っていないようで、
毎日服用していればそんな日もある程度
の感覚でした。

聞き取りからのまとめ

原因：・飲み忘れ
・「薬に頼りたくない」という患者さんの
自己調整

服薬指導：

- ・朝の飲み忘れは食事へ影響が小さい薬なので午前であれば起きた時に服用するように伝えた
- ・自己調整も無理のあるものではないので、適切に続けて構わないと考えた。

再利用の検討

目的：アルミピローや乾燥剤が使用されていないか調べる

①インタビューフォームから包装形態を調べ、安定性を検討した

- ・スルピリド
- ・メダゼパム
(レスミット)
- ・ジアゼパム

⇒

PTP
のみ

- ・アリピプラゾール 1 mg

⇒

PTP/
ピロー包装（アルミニウム）

- ・アリピプラゾール1mg（半錠）

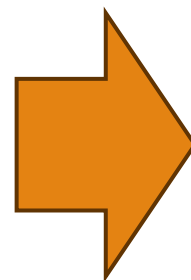
⇒

セロハン分包紙

再利用の検討

②ロット番号から有効期限を検索

- ・スルピリド⇒2028年11月
- ・メダゼパム⇒2028年10月
(レスミット) 2030年 1月
- ・ジアゼパム⇒2027年 5月
2029年 5月



再利用できる



製品情報一覧 先製品と効能又は効果、用法及び用量が異なる製品 資料一括ダウンロード 使用期限検索はこちら

TOP > 製品情報 > 使用期限検索

使用期限検索

サワイ製品名と製造番号（完全一致）から製品の使用期限をまとめて検索できます。
製品名、製造番号のどちらか一方では検索できませんので、必ずセットで入力ください。

（製品名の入力例）
ロスタチン錠2.5mg「サワイ」
※屋号（例：「サワイ」）を含む製品名全てを入力してください。

検索条件をクリア まとめて検索する >

1件目 製品名を入力してください 製造番号を入力してください

参照：

https://med.sawai.co.jp/product/lot_search/

再利用の検討

・アリピプラゾール 1 mg

I インタビューフォームのPTP包装品（ピロー包装なし）の安定性試験からの検討

⇒室温で6ヶ月安定であることを確認した（Fig.1）。

II 2026年7月時点から6か月以内にアルミピローが開封されていれば使用可能であると考えた

⇒入荷日「2025.3月」であり、6か月を超過している。

⇒使用できない

結果

試験項目 保存条件・期間	性状	硬度 N (kgf)	純度試験 (類縁物質)	溶出試験	定量試験※
イニシャル	(a)	43 (4.4)	適合	適合	100.0
室温 (6 ヶ月)	変化なし	変化なし 38 (3.9)	変化なし	変化なし	変化なし 99.7

※：イニシャルを100としたときの含有率(%)

(a)：微赤白色の素錠

Fig.1 PTP包装品（ピロー包装なし）
の安定性試験

参照：

https://med.sawai.co.jp/file/pr22_4571.pdf

再利用の検討

・アリピプラゾール 1 mg (半錠)

インタビューフォームの粉砕したときの安定性試験からの検討

⇒室温で 3ヶ月安定であることを確認した(Fig.2)。

⇒薬袋等がなく半錠にした日をトレースできなかった

⇒使用できない



結果

試験項目	性状	純度試験 (類縁物質)	定量試験*
保存条件・期間			
イニシャル	微赤白色の粉末	適合	100.0
室温(3ヵ月)	変化なし	変化なし	変化なし 100.6
光(60万lx・hr、 ≥100W・hr/m ²)	変化なし	変化なし	変化なし 100.0

※：イニシャルを100としたときの含有率(%)

Fig. 2 粉砕した時の安定性試験
結果

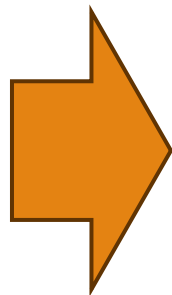
参照：

https://med.sawai.co.jp/file/pr22_4571.pdf

再利用の検討



検討前の廃棄物



検討後の廃棄物



使用できない薬

- ・アリピプラゾール 1 mg
- ・アリピプラゾール 0.5mg

廃棄率 86.3%削減

まとめ

今回のブラウンバッグ運動を通して、実際の残薬を患者さんと一緒に確認することで、服薬状況だけでなく、薬に対する考え方や生活背景についても詳しく聞き取ることができ、ブラウンバッグ運動の意義を実感しました。

また、回収した残薬の再利用について検討する際には、添付文書やインタビューフォームを確認し、不明な点は製薬会社や医薬品卸業者へ問い合わせながら、一つひとつ根拠をもって判断しました。このように薬剤について深く検討する機会は初めてであり、大変貴重な経験となりました。

さらに、安全性を確認した上で再利用可能な薬剤を活用することは、不要な廃棄を減らし、限りある医療資源の有効活用につながることを学びました。今回の経験を今後の服薬支援や薬学的な判断に生かしていきたいと考えます。